



Taka Ishii

Gallery

6-5-24 3F Roppongi Minato-ku Tokyo #106-0032, Japan
tel +81 (0)3 6434 7010
fax +81 (0)3 6434 7011
web www.takaishiigallery.com
email tig@takaishiigallery.com

畠山直哉 Naoya HATAKEYAMA

- 1958 岩手県陸前高田市生まれ
- 1981 筑波大学芸術専門学群総合造形コース卒業
- 1984 筑波大学大学院芸術研究科修士課程デザイン専攻修了
- 1997 第 22 回木村伊兵衛写真賞受賞
- 2000 第 16 回東川賞国内作家賞受賞
- 2001 第 42 回毎日芸術賞受賞
- 第 49 回ヴェネチア・ビエンナーレ日本館参加
- 2003 日本写真協会年度賞受賞
- 2012 芸術選奨文部科学大臣賞受賞
- 第 13 回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展日本館参加（金獅子賞受賞）
- 2015 文化庁文化交流使としてメキシコを中心に 5 ヶ月間活動
- 紫綬褒章受章
- 2016 日本写真協会作家賞受賞
- 東京藝術大学大学院映像研究科教授（メディア映像）
- 2025 日本芸術院会員

個展

- 2024 「津波の木」 タカ・イシイギャラリー（東京）
- 2023 「Yokohama Souvenir」 ケルン市立東洋美術館（ケルン、ドイツ）
- 2022 「津波の木」 PURPLE（京都）
- 「Taiza, Tango」 卅（京都）
- 2019 「光のマケット」 テート・モダン（ロンドン、イギリス）
- 2018 「Naoya Hatakeyama: Excavating the Future City」 ミネアポリス美術館（ミネアポリス、ミネソタ州、アメリカ） [カタログ]
- 「陸前高田 2011-2017」 リュウ・ユニーク（ナント、フランス）
- 2017 「陸前高田 2011-2016」 グアナフアト芸術歴史美術館（レオン、メキシコ）

- 2016 「まっぷたつの風景」 せんだいメディアテーク（宮城）[カタログ]
「Underground / Water」 タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー パリ（パリ、フランス）
- 2015 「陸前高田 2011-2014」 銀座ニコンサロン（東京、3月25日-4月7日）；その後 大阪ニコンサロン（大阪、4月30日-5月13日）へ巡回
- 2013 「Blast」 タカ・イシイギャラリー（東京）
「気仙川／陸前高田2011」 エスパス・ル・カレ（リール、フランス）
- 2011 「Terrils」 コールファス・ギャラリー（ヘント、ベルギー）
「Natural Stories」 東京都写真美術館（東京、10月1日-12月4日）；その後 ハウス・マルセイユ写真美術館（アムステルダム、オランダ、2011年12月16日-2012年2月26日）；サンフランシスコ近代美術館（サンフランシスコ、カリフォルニア州、アメリカ、2012年7月28日-11月4日）へ巡回[カタログ]
- 2010 「Terrils」 ルワルド鉱業歴史センター（ルワルド、フランス）
「Blast」 草場地撮影季（北京、中国）
「線をなぞる/山手通り」 タカ・イシイギャラリー（東京）
「Scales」 大和日英基金（ロンドン、イギリス）
- 2009 「光のマケット」 タカ・イシイギャラリー京都（京都）
「Naoya Hatakeyama」 アルル国際写真祭（アルル、フランス）
- 2008 「Ciel Tombé」 タカ・イシイギャラリー（東京）
- 2007 「Draftsman's Pencil」 (今日の作家XI：鷺見和紀郎・畠山直哉) 神奈川県立近代美術館 鎌倉（神奈川）[カタログ]
「Scales」 カナダ建築研究所（モントリオール、カナダ）
「A BIRD」 空蓮房（東京）
- 2006 「二つの山」 (バルタザール・ブルクハルト、畠山直哉) 東京アートミュージアム（東京）
「Zeche Westfalen I/II Ahlen」 タカ・イシイギャラリー（東京）
- 2005 「Tokyo, A City of Light」 サンタフェ大学マリオン・センター（サンタフェ、ニューメキシコ州、アメリカ）
「Naoya Hatakeyama」 クンストハレ・ザンクト・アネン（リューベック、ドイツ）
- 2004 「Atmos」 L.A. ギャラリー（フランクフルト、ドイツ）
「Naoya Hatakeyama」 C/O Berlin（ベルリン、ドイツ）
「Atmos」 大阪成蹊大学芸術学部 space B（大阪）
- 2003 「Naoya Hatakeyama」 アルル国際写真祭（アルル、フランス）
「Naoya Hatakeyama」 BBK 財団（ビルバオ、スペイン）

- 「Atmos」 タカ・イシイギャラリー（東京）
- 2002 「Slow Glass」 ノーザン・ギャラリー（サンダーランド、イギリス）；ウィンチェスター・ギャラリー（ウィンチェスター、イギリス）；インプレッションズ・ギャラリー（ヨーク、イギリス）；ディック・インスティテュート（キルマーノック、グラスゴー、イギリス）ほか巡回
- 「Naoya Hatakeyama」 ハノーファー美術協会（ハノーファー、ドイツ）；クンストハレ・ニュルンベルク（ニュルンベルク、ドイツ）；ハウス・マルセイユ写真美術館（アムステルダム、オランダ）へ巡回
- 「畠山直哉写真展」 岩手県立美術館（岩手、8月3日-9月16日）；国立国際美術館（大阪、11月7日-12月17日）へ巡回
- 「Slow Glass」 L.A. ギャラリー（フランクフルト、ドイツ）
- 「Slow Glass」 タカ・イシイギャラリー（東京）
- 2001 「UNDER CONSTRUCTION」 （畠山直哉、伊東豊雄） AA スクール（ロンドン、イギリス）；コロンビア大学建築ギャラリー（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）へ巡回
- 2000 「Lime Works」 コロンビア大学建築ギャラリー（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）
- 「Underground」 L.A. ギャラリー（フランクフルト、ドイツ）
- 1999 「Underground」 中京大学アートギャラリー C・スクエア（愛知）
- 「Underground」 マサタカ ハヤカワ ギャラリー（東京）
- 1998 「畠山直哉」 結城市民文化センター（茨城）
- 「BLAST」 ギャラリーNW ハウス（東京）
- 「Naoya Hatakeyama」 L.A. ギャラリー（フランクフルト、ドイツ）
- 1997 「Lime Works」 ミノルタフォトスペース（東京、大阪ほか）
- 1996 「都市のマケット」 ギャラリーNW ハウス（東京）
- 「Lime Works」 ローマ日本文化会館（ローマ、イタリア）；ディアゴナーレ・マルチメディア・センター（ローマ、イタリア）へ巡回
- 1994 「Lime Works」 ギャラリーNW ハウス（東京）
- 「The City and its Origin」 フォックス・トルボット博物館（レイコック、イギリス）
- 1991 「Lime Works」 フォト・インターフォーム（大阪）
- 1990 「A travers la Tunisie」 アラブ世界研究所（パリ、フランス）
- 1989 「等高線」 エル・ヴィル劇場（カン、フランス）；アルトテック・ドゥ・ナント（ナント、フランス）；ファレーズ市立図書館（ファレーズ、フランス）へ巡回
- 1988 「Lime Hills」 ツァイト・フォト・サロン（東京）
- 1987 「Lime Hills」 フォト・インターフォーム（大阪）
- 1986 「畠山直哉」 東京造形大学（東京）

1983 「等高線」 ツァイト・フォト・サロン（東京）

主なグループ展

2026 「コレクション 3 反射する都市」 国立国際美術館（大阪）

2025 「Metamorphosis: Space and Society in the Idealist Collection」 Serrería Belga（マドリード、スペイン）

「東京ビエンナーレ 2025」 エトワール海渡リビング館（東京）

「The Way of Nature: Art from Japan, China, and Korea」 ボルチモア美術館（ボルチモア、メリーランド州、アメリカ）

「ニュー・ユートピア——わたしたちがつくる新しい生態系」 弘前れんが倉庫美術館（青森）
[カタログ]

「Memento: Photography, interrupted」 ハウス・マルセイユ写真美術館（アムステルダム、オランダ）

「総合開館 30 周年記念 TOP コレクション 不易流行」 東京都写真美術館（東京） [カタログ]

2024 「Making It Matters」 M+（香港）

「TRIO パリ・東京・大阪 モダンアート・コレクション」 東京国立近代美術館（東京、5 月 21 日-8 月 25 日）；その後 大阪中之島美術館（大阪、9 月 14 日-12 月 8 日）へ巡回 [カタログ]

「ヨーゼフ・ボイス ダイアログ展」 GYRE GALLERY（東京）

「写真をめぐる 100 年のものがたり」 静岡市美術館（静岡） [カタログ]

「未来都市シブヤ エフェメラを誘発する装置」 GYRE GALLERY（東京）

2023 「東京ビエンナーレ 2023」 エトワール海渡リビング館（東京）

「写真展 福島、東北 写真家たちが捉えた風土／震災」 福島県立博物館（福島）

「回復する」 猪熊弦一郎現代美術館（香川）

「Chêne Pointu」 シェーヌ・ポワンテュ・ショッピングセンター（クリシー＝ス＝ボワ、フランス） [カタログ]

2021 「リバーシブルな未来：日本・オーストラリアの現代写真」 東京都写真美術館（東京） [カタログ]

「森と水と生きる」 長野県立美術館（長野） [カタログ]

大林コレクション展「都市と私のあいだ」 WHAT MUSEUM（東京）

「Listening to the Stones」 クンストハウス・ドレスデン（ドレスデン、ドイツ） [カタログ]

2020 「DOMANI・明日 2020 傷ついた風景の向こうに」 国立新美術館（東京） [カタログ]

- 「Thank You Memory - 醸造から創造へ -」 弘前れんが倉庫美術館（青森）
- 「Pictures from Another Wall: The collection of Huis Marseille at De Pont」 デ・ボン美術館（ティルブルフ、オランダ）
- 2019 「Parergon: Japanese Art of the 1980s and 1990s」 BLUM & POE（ロサンゼルス、カリフォルニア州、アメリカ）[カタログ]
- 2018 「カタストロフと美術のちから」 森美術館（東京）[カタログ]
- 「2018 ソウルフォトフェスティバル/Brave New World」 ソウル市立美術館（ソウル、韓国）
- 「A Beautiful Moment」 ハウス・マルセイユ写真美術館（アムステルダム、オランダ）
- 「s.m.a.r.t: paths towards sustainability」 PHotoESPAÑA（マドリッド、スペイン）
- 「建築の日本展：その遺伝子のもたらすもの」 森美術館（東京）[カタログ]
- 開館 40 周年記念展 「トラベラー: まだ見ぬ地を踏むために」 国立国際美術館（大阪）[カタログ]
- 2017 「ヨコハマトリエンナーレ 2017」 横浜美術館（神奈川）[カタログ]
- 「On The Art of Building a Teahouse: Excursions into Japanese Aesthetics」 ニュルンベルク新美術館（ニュルンベルク、ドイツ）
- 「椿会展『初心』2017」 資生堂ギャラリー（東京）
- 「Japan-ness. Architecture and urbanism in Japan since 1945」 ポンピドゥー・センター・メス（メス、フランス）[カタログ]
- 「Japanorama. A new vision on art since 1970」 ポンピドゥー・センター・メス（メス、フランス）[カタログ]
- 2016 「写真の〈原点〉再考ーヘンリー・F・トルボット『自然の鉛筆』から」 京都国立近代美術館（京都）
- 「ニュー“コロニー／アイランド”2 ～災害にまつわる所作と対話～」 アートエリア B1（大阪）
- 「椿会展『初心』2016」 資生堂ギャラリー（東京）
- 「風景のかたちー前田真三と現代日本の風景写真」 足利市立美術館（栃木）
- 「Japanese Photography from Postwar to Now」 サンフランシスコ近代美術館（サンフランシスコ、カリフォルニア州、アメリカ）
- 「Eaux troubles, Eaux calmes」 フランソワ・シュナイダー財団（ヴァットヴィレール、フランス）
- 「The Edge of the Earth: Climate Change in Photography and Video」 ライオン・イメージ・センター（トロント、カナダ）
- 「The Japanese House. Architecture & life after 1945」 イタリア国立 21 世紀美術館（ローマ、イタリア、2016 年 11 月 9 日-2017 年 2 月 26 日）; その後 パービカン・センター（ロン

- ドン、イギリス、2017年3月22日-6月25日)；東京国立近代美術館（東京、2017年7月19日-10月29日）へ巡回[カタログ]
- 2015 「椿会展『初心』2015」資生堂ギャラリー（東京）
- 「In the Wake: Japanese Photographers Respond to 3/11」ボストン美術館（ボストン、マサチューセッツ州、アメリカ）
- 2014 「Traces of Disappearance」エスパス ルイ・ヴィトン東京（東京）[カタログ]
- 「椿会展『初心』2014」資生堂ギャラリー（東京）
- 「WARAKOH think and feel 東北 vol.2 変わったもの、変わらずにあるもの」藁工ミュージアム（高知）
- 「タマ／アニマ（わたしに息を吹きかけてください）内藤礼 畠山直哉 写真」ギャラリー小柳（東京）
- 「The Marseillaise / fifteen years of collecting」ハウス・マルセイユ写真美術館（アムステルダム、オランダ）
- 企画展示「都市と自然」（札幌国際芸術祭 2014）北海道立近代美術館（北海道）
- 「これからの写真」愛知県美術館（愛知）
- 「Transmission」スタジオ 35 分（東京）
- 「THE MIRROR: Hold the Mirror up to nature」名古屋商工会館（東京）
- 「3.11 以後の建築」金沢 21 世紀美術館（石川、2014 年 11 月 1 日-2015 年 5 月 10 日）；水戸芸術館（茨城、2015 年 11 月 7 日-2016 年 1 月 31 日）へ巡回
- 2013 「『ここに、建築は、可能か』第 13 回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展 日本館帰国展」TOTO ギャラリー間（東京）
- 「つくることが生きること：東日本大震災復興支援プロジェクト展」デザイン・クリエイティブセンター神戸（兵庫）
- 「椿会展『初心』2013」資生堂ギャラリー（東京）
- 「高橋コレクション展 マインドフルネス！」鹿児島県霧島アートの森（鹿児島、7 月 12 日-9 月 1 日）；その後 札幌芸術の森美術館（北海道、9 月 14 日-11 月 24 日）へ巡回[カタログ]
- 「堂島リバービエンナーレ 2013『Little Water』」堂島リバーフォーラム（大阪）
- 「WORLD IMAGES 5」ヘルムハウス（チューリヒ、スイス）
- 「ラスト・シーン」中京大学アートギャラリー C・スクエア（愛知）
- 2012 「東北 - 風土・人・くらし」中華世紀壇世界美術館（北京、中国）ほか巡回
- 「3.11とアーティスト：進行形の記録」水戸芸術館（茨城）
- 「ここに、建築は、可能か」第 13 回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展日本館（ヴェネチア、イタリア）[カタログ]

- 国立国際美術館開館 35 周年記念展「コレクションの誘惑」国立国際美術館（大阪）
- 「つくることが生きること：東日本大震災復興支援プロジェクト展」3331 Arts Chiyoda（東京）
- 2011 「Documented, Doubtful and Imagined Realities: Contemporary Photography from Japan and Taiwan」Yi&C Contemporary Art（台北、台湾）[カタログ]
- 「所蔵作品展 近代日本の美術 第1回」東京国立近代美術館（東京）
- 「Remembrance of the Future to Come」Former “Plug in”（バーゼル、スイス）
- 2010 「Ruptures and Continuities: Photography Made After 1960 From the MFAH Collection」ヒューストン美術館（ヒューストン、テキサス州、アメリカ）
- 「Landscape without Horizon」シュロス・モイランド美術館（ベドブルグ・ハウ、ドイツ）[カタログ]
- 「Beyond Mediations」メディエーションズ・ビエンナーレ（ポズナン、ポーランド）
- 「陰影礼讃—国立美術館コレクションによる」国立新美術館（東京）
- 2009 「中国現代美術との出会い—日中当代芸術にみる21世紀的未来—」栃木県立美術館（栃木）[カタログ]
- 「Nippon Kōbō」FORMA（ミラノ、イタリア）
- 「Prix Pictet: Earth」パッサージュ・デ・レ（パリ、フランス、10月23日-11月24日）；その後 モスクワ写真美術館（モスクワ、ロシア、2010年5月27日-6月27日）；FORMA（ミラノ、イタリア、2010年10月5日-17日）ほか巡回[カタログ]
- 2008 「First Doubt: Optical Confusion in Modern Photography」イェール大学アートギャラリー（ニューヘイヴン、コネチカット州、アメリカ）
- 「Asian Dub Photography」モデナ貯蓄銀行財団（モデナ、イタリア）
- 「Water in Photography」ハウス・マルセイユ写真美術館（アムステルダム、オランダ）
- 「建築の記憶：写真と建築の近現代」東京都庭園美術館（東京）[カタログ]
- 「アートは心のためにある：UBS アートコレクションより」森美術館（東京）
- 「Heavy Light: Recent Photography and Video from Japan」国際写真センター（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）
- 「写★新世界」せんだいメディアテーク（宮城）
- 「Two Mountains: Naoya Hatakeyama and Balthasar Burkhard」ザルツブルク近代美術館（ザルツブルク、ドイツ）
- 2007 「Fascination」日本橋高島屋美術画廊X（東京）
- 「An Incomplete World: Works from the UBS Art Collection」ニューサウスウェールズ州立美術館（シドニー、オーストラリア、5月19日-8月5日）；その後 国立ヴィクトリア美術

- 館（メルボルン、オーストラリア、2007年9月28日-2008年1月6日）へ巡回
- 「New Territories」 L.A. ギャラリー（フランクフルト、ドイツ）
- 「Thermocline of Art: New Asian Waves」 ZKM現代美術館（カールスルーエ、ドイツ） [カタログ]
- 「The Suspended Moment」 Z33（ハッセルト、ベルギー）
- 「Mapas, cosmogonías e puntos de referencia」 ガリシア現代美術センター（サンディアゴ・デ・コンポステーラ、スペイン） [カタログ]
- 「Global Cities」 テート・モダン（ロンドン、イギリス）
- 「美麗新世界—当代日本視覚文化」 広東美術館（広州、中国）、Inter Art Center（北京、中国）、Long March Space、（北京、中国）、BTAP - Beijing Tokyo Art Projects（北京、中国） [カタログ]
- 2006 「Eyes of An Island」 マイケル・ホッペン・ギャラリー（ロンドン、イギリス）
- 「昭和の記憶—写真に甦る人々の情景—」 群馬県立館林美術館（群馬）
- 「Tunnel Vision」 アントワープ写真美術館（アントワープ、ベルギー）
- 「11 Contemporaries」 マイケル・ホッペン・ギャラリー（ロンドン、イギリス）
- 「Spectacular City: Photographing the Future」 オランダ建築研究所（ロッテルダム、オランダ）、NRWフォーラム（デュッセルドルフ、ドイツ）
- 「L' ÉCHO DES COLLECTIONS - carte blanche à Jacques Py」 ル・リング、アルトテック・ドゥ・ナント（ナント、フランス）
- 「コレクション3」 国立国際美術館（大阪）
- 2005 「第26回サンパウロ・ビエンナーレ・セレクション」 チリ大学芸術学部現代美術館（サンティアゴ、チリ）
- 「Le Temps Suspendu: H & F Collection」 アルザス現代芸術センター（アルトキルシュ、フランス）、ヴィーゴ現代美術館（ヴィーゴ、スペイン）
- 「Landschaft als Metapher」 ウルズラ・ブリックル財団（クライヒタル、ドイツ）
- 「Das verlorene Paradies : die Landschaft in der zeitgenössischen Photographie」 オペルヴィレン財団（リュッセルスハイム・アム・マイン、ドイツ）
- 「Multiple Räume (2) Park」 バーデン＝バーデン国立美術館（バーデン＝バーデン、ドイツ）
- 「光と影の彼方に：まなざし・記憶・希望」 北海道立釧路芸術館（北海道）
- 「Photographing Architecture」 ギャラリー・クレアフォンタル（ルクセンブルク、ルクセンブルク）
- 「風景散歩 sight-cruising」 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館（香川） [カタログ]

- 「コレクション2」 国立国際美術館（大阪）
- 「時代を切り開くまなざしー木村伊兵衛写真賞の30年ー1975-2005」 川崎市市民ミュージアム（神奈川）
- 「85/05ー幻のつくば写真美術館からの20年」 せんだいメディアテーク（宮城） [カタログ]
- 2004 「六本木クロッシング：日本美術の新しい展望 2004」 森美術館（東京）
- 「メディアリーナ：日本のコンテンポラリー・アート」 ゴベット・ブリュースター・アートギャラリー（ニュープリマス、ニュージーランド）
- 「ブレインストーミング：倫理の地勢学」 国立風景芸術センター（ボーモン＝デュ＝ラック、フランス）
- 「StadtRäume」 クンストフォーラム・バロワ（バーゼル、スイス）
- 「Natur nach Maß!？」 ツェッヒェ・ヴェストファーレン（アーレン、ドイツ）
- 「smt コンストラクション・ワンダーランド」 せんだいメディアテーク（宮城）
- 「Metamorph」 ヴェネチア・ビエンナーレ第9回国際建築展（ヴェネチア、イタリア） [カタログ]
- 「Take Five! Huis Marseille Turns Five」 ハウス・マルセイユ写真美術館（アムステルダム、オランダ）
- 「Aspects of Architecture: Photographs from the V&A Collection and the Sheffield City Collection」 グレーヴス・ギャラリー（シェフィールド、イギリス）
- 「Territorio livre」 第26回サンパウロ・ビエンナーレ（サンパウロ、ブラジル）
- 「The Secret Forest of Princess Knight: Fantastic Landscapes from Japan」 M.Y. アート・プロスペクツ（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）
- 「Do You Believe in Reality?」 台北ビエンナーレ、台北市立美術館（台北、台湾）
- 「10周年展」 タカ・イシイギャラリー（東京）
- 2003 「Histories of Photography」 フランシス・リーマン・ロープ・アートセンター（ポキプシー、ニューヨーク州、アメリカ）
- 「JAPAN - Keramik und Fotografie - Tradition und Gegenwart」 ダイヒトアハレン・ハンブルク（ハンブルク、ドイツ） [カタログ]
- 「The History of Japanese Photography」 ヒューストン美術館（ヒューストン、テキサス州、アメリカ）、クリーヴランド美術館（クリーヴランド、オハイオ州、アメリカ） [カタログ]
- 「Juegos de Escala」 ガリシア現代美術センター（サンティアゴ・デ・コンポステラ、スペイン）
- 「Innatura」 第10回国際写真ビエンナーレ（トリノ、イタリア）
- 「Timeframes」 ジャパン・ソサエティ（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）

- 「L' attitude」 ブライス・ウォルコウィッツ・ギャラリー（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）
- 「Consuming Nature」 コロンビア・カレッジ・シカゴ現代写真美術館（シカゴ、イリノイ州、アメリカ）
- 「Mask of Japan: Contemporary Japanese Photography」 アウラ・ギャラリー（上海、中国）、広東美術館（広州、中国）
- 「Kokoro no Arika, Location of the Spirit: Contemporary Japanese Art」 ルートヴィヒ美術館（ブダペスト、オーストリア）、モスクワ市現代美術館（モスクワ、ロシア）
- 2002 「未完の世紀：20 世紀美術がのこすもの」 東京国立近代美術館（東京）
- 「Episode」 ウォーリック大学ウォーリックアーツセンター・ミードギャラリー（コヴェントリー、イギリス）
- 「Orte des Unsichtbaren: Medienkünstler aus Japan und Korea」 ケルン日本文化会館（ケルン、ドイツ）
- 「12 人の挑戦：大観から日比野まで」 水戸芸術館（茨城）
- 「DER BERG」 ハイデルベルク美術協会（ハイデルベルク、ドイツ）
- 2001 「Bauart. Die Kunstsammlung der Heidelberger Zement AG」 クアプファルツ博物館（ハイデルベルク、ドイツ） [カタログ]
- 「Fast & Slow」 第 49 回ヴェネチア・ビエンナーレ日本館（ヴェネチア、イタリア）
- 「La Espiritualidad del Vacío」 バンカハ財団（バレンシア、スペイン） [カタログ]
- 「Out of Japan」 ヴィクトリア&アルバート博物館（ロンドン、イギリス）
- 「Monets Vermächtnis: Serie - Ordnung und Obsession」 ハンブルク美術館（ハンブルク、ドイツ） [カタログ]
- 「New Heimat」 フランクフルト美術協会（フランクフルト、ドイツ）
- 「Urban Pornography」 アーティスト・スペース（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）
- 2000 「予兆：アジアの映像芸術展」 国際交流基金フォーラム（東京） [カタログ]
- 「-scape:」 マサタカ ハヤカワ ギャラリー（東京）
- 「Yume No Ato: Was vom Traum blieb ... Zeitgenössische Kunst aus Japan」 ハウス・アム・ヴァルトゼー（ベルリン、ドイツ）、バーデン＝バーデン国立美術館（バーデン＝バーデン、ドイツ）
- 「第 16 回東川賞受賞作家作品展」 東川町文化ギャラリー（北海道）
- 「Landschaft in der zeitgenössischen Fotografie」 オルデンプルク州立博物館（オルデンプルク、ドイツ）
- 1999 「大辻清司と 15 人の写真家たち」 東京造形大学（東京）

- 「Modena per la Fotografia 1999」モデナ市民ギャラリー（モデナ、イタリア）[カタログ]
- 「Wohin kein Auge reicht」ハンブルク写真トリエンナーレ、ダイヒトアハレン（ハンブルク、ドイツ）
- 「木村伊兵衛写真賞の軌跡 1975-1999」川崎市市民ミュージアム（神奈川）
- 「Toyo Ito: Blurring Architecture」ズーエモント・ルートヴィヒ美術館（アーヘン、ドイツ）
- 1998 「写真の現在：距離の不在」東京国立近代美術館フィルムセンター（東京）[カタログ]
- 「À prova de água: Waterproof」ベレム文化センター（リスボン、ポルトガル）[カタログ]
- 「Asia City」ザ・フォトグラファーズ・ギャラリー（ロンドン、イギリス）[カタログ]
- 「21st Anniversary ZEIT-FOTO-幻のNI CAF1998 年展に代えて」アーツスペースシモダ（東京）
- 「Speed: Visions of an Accelerated Age」ザ・フォトグラファーズ・ギャラリー（ロンドン、イギリス）[カタログ]
- 「Donai Yanen ! Et maintenant !: La création contemporaine au Japon」国立高等美術学校（パリ、フランス）[カタログ]
- 1997 「Interferenzen」L.A. ギャラリー（フランクフルト、ドイツ）
- 「LAZUR 夜想鉦物展」デルタ・ミラージュ（東京）
- 「都市のイメージ 東京国立近代美術館の写真コレクションより」東京国立近代美術館フィルムセンター（東京）
- 「Lust und Leere. Japanische Photographie der Gegenwart」クンストハレ・ウィーン（ウィーン、オーストリア、4月25日-7月20日）；その後 ヨーロッパ巡回
- 「時間/視線/記憶：90年代美術にみる写真表現」東京都現代美術館（東京）[カタログ]
- 「アートは楽しい8:複製時代」原美術館 ARC（群馬）
- 1996 「LAND OF PARADOX」フォトグラフィック・リソース・センター（ボストン、マサチューセッツ州、アメリカ）；その後 アメリカ、日本巡回
- 「アイデアル・スタンダード・ライフ」スパイラルガーデン（東京）
- 「第32回今日の作家展 ニュー・ジャパニーズ・フォトグラフィ 1990's 無意識の共鳴」横浜市民ギャラリー（神奈川）
- 1995 「アナザー・リアリティー -現代写真の動向」川崎市市民ミュージアム（神奈川）
- 1994 「Liquid Crystal Futures: Contemporary Japanese Photography」フルーツマーケット・ギャラリー（エジンバラ、イギリス）；その後 ヨーロッパ、東京巡回[カタログ]
- 「欲望の砂漠」スパイラルガーデン（東京）
- 「カワサキ・モニュメント」川崎市市民ミュージアム（神奈川）
- 1993 「In die Felsen bohren sich Zikadenstimmen: Zeitgenössische Japanische Fotografie」

- クンストハウス・チューリッヒ（チューリッヒ、スイス）[カタログ]
- 1992 「現代写真の母型 3」 川崎市市民ミュージアム（神奈川）
- 1991 「コンテンポラリー フォトグラフィー 日本の 14 人展」 日本橋三越アールクリオ（東京）[カタログ]
- 「オリエンタリズム検証」 ツァイト・フォト・サロン（東京）
- 「Vach' image」 MJC de Saint Gervais（サン＝ジェルヴェ＝レ＝バン、フランス）
- 「MAKE-BELIEVE: Contemporary Photography from Japan」 ザ・フォトグラファーズ・ギャラリー（ロンドン、イギリス）；その後 イギリス巡回
- 1990 「写真 150 年 海の写真名品展」 下関市立美術館（山口）[カタログ]
- 「日本のコンテンポラリー：写真をめぐる 12 の指標」 東京都写真美術館（東京）、パヴィヨン・デザール（パリ、フランス）[カタログ]
- 1989 「第 9 回ハラ アニュアル」 原美術館（東京）
- 「オリエンタリズムの絵画と写真展」 世界デザイン博覧会ホワイットミュージアム（愛知）
- 1988 「日本現代写真展」 コロンビア・カレッジ・シカゴ（シカゴ、イリノイ州、アメリカ）
- 「TAMA VIVANT '88」 シブヤ西武シードホール（東京）
- 1986 「Fotografia Japonesa Contemporanea」 Círculo de Bellas Artes（マドリード、スペイン）：その後 Casa Elizalde（バルセロナ、スペイン）；Diputación de Valencia Sala Parpalló（バレンシア、スペイン）；Museo de Bellas Artes de Bilbao（ビルバオ、スペイン）へ巡回
- 1985 「パリ・ニューヨーク・東京」 つくば写真美術館（茨城）[カタログ]
- 1983 「PHOTOGRAPHY 展」 画廊みやざき（大阪）
- 1982 「15 contemporary photographic expressions」 筑波大学大学会館別館（茨城）
- 1981 「カメラワークス・イグズィビション」 筑波大学大学会館ギャラリー（茨城）

出版物

『津波の木』 小学館、2024 年

『丹後-古代史の遠いこだま』（池澤夏樹との共著）河出書房新社、2024 年

『陸前高田市東日本大震災遺構』 赤々舎、2022 年

『見えている パチリ！』（大竹昭子との共著）カタリココ文庫、2022 年

『空蓮房：仏教と写真』（谷口昌良との共著）赤々舎、2019 年

『伊東豊雄：台中歌劇院』 建築資料研究社、2019 年

『Naoya Hatakeyama: Excavating the Future City』 Aperture Foundation、2018 年

『まっぶたつの風景』 赤々舎、2017 年

『Rikuzentakata』 Light Motiv、2016 年

『出来事と写真』（大竹昭子との共著）赤々舎、2016 年／増補版：小学館、2024 年

『陸前高田 2011-2014』 河出書房新社、2015 年

『島山直哉』（ヴァガボンズ・スタンダード 4）平凡社、2015 年

『Kesengawa』 Light Motiv、2013 年

『BLAST』 小学館、2013 年

『気仙川』 河出書房新社、2012 年

『Terrils』 ライト・モチーフ／タカ・イシイギャラリー、2011 年

『Ciel Tombé』 スーパーラボ、2011 年

『話す写真 見えないものに向かって』 小学館、2010年

『Draftsman's Pencil』 神奈川県立近代美術館、2007年

『Scales』 CCA／Nazraeli Press、2007年

『A BIRD BLAST #130』 タカ・イシイギャラリー、2006年／新版：roshin books、2025年

『二つの山』（バルタサール・ブルクハルトとの共著）二つの山展実行委員会、2006年

『Zeche Westfalen I/II Ahlen』 Nazraeli Press、2006年／フランス語版：Textuel、2006年

『River Series / Shadow』 Nazraeli Press、2004年

『Atmos』 Nazraeli Press、2003年

『島山直哉』 淡交社、2002年

『Naoya Hatakeyama』 Hatje Cantz、2002年／スペイン語・バスク語版：BBK、2003年

『Slow Glass』 Light Xchange with The Winchester Gallery、2002年

『UNDER CONSTRUCTION』（伊東豊雄との共著）建築資料研究社、2001年

『Underground』 メディアファクトリー、2000年

『Lazur 透きとおる石』（大谷芳久との共著）ペヨトル工房、1997年

『ライム・ワークス』 シナジー幾何学、1996年／新版：アムズ・アーツ・プレス、2002年；青幻舎、2008年、2025年

『Naoya Hatakeyama: CITTA IN NEGATIVO -DA LIME WORKS』 Diagonale s.r.l.、1996年

『等高線』 CAMERA WORKS、1982年 [定期刊行物『camera works tokyo』no.9]

主なパブリック・コレクション

カナダ建築センター（モントリオール、カナダ）

国立造形芸術センター (CNAP) / 国立現代美術基金 (FRAC) (パリ、フランス)

ガリシア現代美術センター(サンティアゴ・デ・コンポステラ、スペイン)

スイス写真財団 (ヴィンタートゥーア、スイス)

ハウス・マルセイユ写真美術館 (アムステルダム、オランダ)

国際写真センター (ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ)

国際交流基金 (東京)

J・ポール・ゲティ美術館 (ロサンゼルス、カリフォルニア州、アメリカ)

北海道立釧路芸術館 (北海道)

ヨーロッパ写真美術館 (パリ、フランス)

ミルウォーキー美術館 (ミルウォーキー、ウィスコンシン州、アメリカ)

ミネアポリス美術館 (ミネアポリス、ミネソタ州、アメリカ)

森美術館 (東京)

ヒューストン美術館 (ヒューストン、テキサス州、アメリカ)

ニューヨーク近代美術館 (ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ)

神奈川県立近代美術館 (神奈川)

国立国際美術館 (大阪)

東京国立近代美術館 (東京)

プリンストン大学美術館 (プリンストン、ニュージャージー州、アメリカ)

サンフランシスコ近代美術館 (サンフランシスコ、カリフォルニア州、アメリカ)

せんだいメディアテーク (宮城)

テート (ロンドン、イギリス)

東京都写真美術館 (東京)

ヴィクトリア&アルバート博物館 (ロンドン、イギリス)

イエール大学美術ギャラリー (ニューヘイヴン、コネチカット州、アメリカ)

山口県立美術館 (山口)